

# ふれあいの発進



社団法人 南宇和郡医師会  
老人保健施設  
なんぐん館  
南宇和郡御荘町深泥703-2  
TEL (0895) 73-1021  
発行責任者 施設長 兼吉 章

## 施設理事あいさつ



施設理事 菅 毅

四月一日を以って、いよいよ介護保険法が施行され、見切り発車的で不安の多いものであったので、各医療機関、各施設、介護事業者、支払機関共に、正確な理解得てなく、特に保険請求面では、パニック状態が続いているようである。しかし施行された以上、現状で最善の努力をすることが大切である。幸にも我が南宇和郡では、各機関非常に熱心に介護保険に取り組み、特別養護老人ホーム、老健施設、ケアハウス等充実し、充分な機能を発揮していると自負している、介護認定においても他と著変なく不満訴えもなくスムーズに行われている。

先般、地域ケア研究会の一環として京都より早川一光先生をお招きし講演会が催されたが、先生のすばらしい人格性、ユーモアあふれる話術、老人介護の本質にふれるお話で場内の雰囲気は満足にたりうるものであったと思っている、粉川会長、渡部先生はじめ各関係者の努力に敬意を表す。

早川先生は畳の上で最期を向かえよと度々云われた、生を受けた者、必ず死を向かえる自然の道理がある、私は先生の言葉の本意を

次の様に理解した、つまり人生は成功をとげ名をなす者あれば、意に反して不幸な人生を送る者もあるが、最期を向かえる時は、本人の考え、介護する人の考え次第ですべての人が幸福な最期を迎える事が可能と云う事。云いいかえれば、介護を受ける者は何も遠慮なく自分の意向を伝え介護する人は、やさしさで自信を持って充分な介護を行ってあげる事、すなわち理想的介護を行えば何処で最期を向かえようと必ず満足するものであると。先生の本意を理解し今后共理想の介護に向けた努力を続けて行こう。



# ひな祭り

桃の三月、暖かかったり肌寒かったり、利用者の皆さんには、全体的に発熱する方が大変多く見受けられ、どうなるものかと当日まで心配でした。

今回のひな祭り会は、前回以上に賑やかに盛り上げたいと思い、職員や踊りの先生の協力を得て、ひな祭りの曲・花笠音頭にも工夫をこらし、カラオケに乗って利用者の皆さん・職員共に歌あり踊りありの楽しい一時を過ごし、無事行事を終える事が出来ました。



利用者の皆さんからはそれぞれに、「今日は、本当に良かったよ」と声を掛けて頂き、今後ますます頑張っていきたいと思っています。



# ホーム喫茶

去る四月十四日、ホーム喫茶を行いました。少し肌寒い気もしたのですが、中庭にて皆さん楽しい一時を過ごしました。



事前に利用者の方々アンケートをとり、メニューの中からそれぞれ好きな飲み物とお菓子を、選んで頂きました。皆さん好きなテーブルに気の合った人達と座り、おしゃべりにも花を咲かせておりました。途中、ブレイカーが落ちると言うハプニングが起きてしまい皆さんにもご迷惑をおかけしたのですが、何とか無事に終えることが出来ました。